

# 平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	総務部	税務課	税政担当	内線等	2412
----	-----	-----	------	-----	------

事業コード		事務事業名	公図管理システム構築事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け  
基本目標

	施策名
市民とともに歩むまちづくり	財政

## 事務事業の内容

対象	公図を
手段	デジタル化することによって
想定する成果	検索・コピーが瞬時に出来、また、評価計算時の画地計算が公正・迅速化される。

## 事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
公図デジタル化	-	ソフトウェア開発およびシステム稼働 デジタル化した総筆数 167,230筆	-

## 目標値

成果指標名	公図デジタル化率
成果指標の説明	デジタル化した公図件数 / 公図件数 × 100

## 事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	-
	実績	-	100%	-
事業費	事業費	-	15,918,000円	-
	人件費	-	835,800円	-
	(人数)	-	0.1人	-
	合計	-	16,753,800円	-
財源内訳	国	-		-
	県	-		-
	市債	-		-
	その他	-		-
	一般財源	-	16,753,800円	-

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	10	10	公図化率 100%
効率性	10	10	公図閲覧にかかる時間が短縮され、評価替時の画地計算が公正・迅速化される。
公共性	10	10	市が行う事業
緊急度	10	10	平成15年の評価替に必要
小計	40	40	
市民参加度	-	-	-
合計	40	40	
総合評価	A	A	達成率は100%で、事務の効率、市民サービスが図られた。

これまでに実施した改善点

達成度	事務効率の改善策の一環として、事業実施した。
効率性	土地・家屋の評価システムの導入が終了し、公図のデジタル化により市民の利便が向上した。
公共性	税の賦課事務、証明等公共性が強く、事務改善を検討した。
緊急度	平成15年度の評価替の画地計算にも利用でき、平成13年度の実施が必要であった。
市民参加度	-

今後の改善すべき点

達成度	証明時の所要時間短縮にかかるデータがないため、適切な成果指標が設定できなかった。
効率性	
公共性	
緊急度	
市民参加度	-